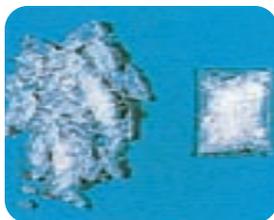


# 薬物乱用とは？

薬物乱用とは、社会的常識、特に医学的常識を逸脱して、麻薬や覚せい剤などの薬物を使うことです。たとえ、1回使用しただけでも乱用にあたります。

## 乱用される危険のある主な薬物



### ● 覚せい剤

幻覚や妄想が現れ、中毒性精神病になりやすい。使用をやめても再燃（フラッシュバック）することがある。大量に摂取すると死に至る。



### ● 大麻(マリファナ)

知覚を変化させるが、恐慌状態（いわゆるパニック）を引き起こすこともある。乱用を続けると、学習障害、記憶障害、人格変化を起こす。



### ● あへん系麻薬(ヘロインなど)

皮膚が鳥肌立ち、全身の強烈な痛みと痙攣におそわれる(退薬症状)。大量に摂取すると死に至る。(写真はヘロイン)



### ● コカイン

幻覚や妄想が現れる。大量に摂取すると全身痙攣を起こすほか、死に至る。



### ● MDMA

知覚を変化させ幻覚が現れることがある。大量に摂取すると高体温になり、死に至る。



### ● 違法ドラッグ(いわゆる脱法ドラッグ)

吐き気、頭痛、精神への悪影響や意識障害などが起きる恐れがあり、麻薬や覚せい剤と同様の危険性が指摘されている。



### ● 有機溶剤(シンナーなど)

情緒不安定、無気力となり、幻覚や妄想が現れて、薬物精神病になり、大量に摂取すると呼吸困難となり、死に至る。



## 隠語

薬物は、別の呼び名で呼ばれている場合があります。

- 覚せい剤……………エス、スピード、アイス、シャブ
- 大麻……………ハツパ、グラス、チョコ、クサ、ジョイント
- MDMA(錠剤型合成麻薬)…エクスタシー、バツ(「×」、「罰」)
- ヘロイン……………ペー、チャイナホワイト、ジャンク
- コカイン……………コーク、スノウ、クラック
- シンナー……………アンパン

# なぜ、薬物乱用はいけないのか。

## 1. 脳をおかされて、心も身体もメチャクチャになる

### 覚せい剤の場合

幻覚・妄想

フラッシュバックをおこす。

血圧が異常に高くなる。

静脈に炎症を起こす。

強い疲労感や倦怠感、脱力感におそわれる。

依存性が強い。

### MDMAの場合

混乱、憂鬱、睡眠障害、脳卒中、けいれん、記憶障害になる。

高血圧になる。心臓の機能不全、心臓発作

肝臓の機能不全

悪性の高体温による筋肉の著しい障害

腎臓と心臓血管の損傷

### シンナーの場合

記憶力低下、幻覚、妄想、認知障害

歯がぼろぼろになる。

視力の低下・失明する。

肝臓の一部が死ぬ。

生殖器の萎縮

手足のふるえ、しびれ、麻痺

成長期の青少年には、背がのびない、筋肉がおとろえる、体重が減るなどの症状が現れ、脳やからだの発育をさまたげる大きな原因となります。

### 大麻(マリファナ)の場合

精神障害:大麻精神病(幻覚・妄想など)

生殖機能への悪影響

肺ガンの誘発

## 2. 自分の意志では止められなくなる

薬物乱用の最も恐ろしい特徴は、薬物の“依存性”と“耐性”

**依存性** ⇨ 一回ぐらいならと思っても、また使いたくなり、繰り返し使ううちに薬物の使い方のコントロールがきかなくなってしまう。

**耐性** ⇨ 使用を繰り返しているうちに、それまでの量では効きめがうすれていく。

一回だけと思って始めた人も、薬物の“依存性”と“耐性”によって使用する量や回数がどんどん増えていき、どうしようもない悪循環に陥ります。もはやそうになると自分の意志だけでは止めることはできません。

